



生産者を確認し、総社産の野菜を購入する買い物客

## 身近なお店で総社の野菜を

そうじゃ地・食べ市場オープン

地産地消を進めるそうじゃ「地・食べ」委員会が1月9日、ハッピーマート総社溝口店に、総社産の新鮮な野菜を提供する直売所「そうじゃ地・食べ市場」を開設しました。

市内で4か所目の「地・食べ」直売所となるコーナーには、栽培契約を結んでいる市内の認定生産者が育てた安全で安心な野菜や加工品約20品目が販売されています。

## 赤米に愛着を深める

赤いもち米「あかおにもち」を使った餅つき

新本地区に伝わる赤米を知り、親しんでもらおうと市内の18幼稚園と14保育園・保育所で、赤いもち米「あかおにもち」を使った餅つきが行われました。

12月18日、新本幼稚園で行われた餅つきでは、園児が地域の人といっしょに餅をつき、つきたてのピンクの餅を「おいしい」と言って食べていました。

「あかおにもち」は、市内で赤米の生産・加工・販売をしているレッドライスカンパニー（株）から市に無償提供されたものです。



きれいなピンク色の餅をつく園児

## 火災から命を守るため

消防職員と婦人防火クラブ員などが住宅用火災警報器を設置

住宅用火災警報器の普及促進と防火意識の高揚を図るため、消防職員と婦人防火クラブ員などが、一人暮らしの高齢者宅を訪問し、住宅用火災警報器の設置状況の確認や防火点検を行いました。

この事業は全国消防機器協会から無料配布を受けた住宅用火災警報器100個と住宅用消火器25個を利用。対象となった久代と新本地区の一人暮らしの高齢者宅を消防職員と婦人防火クラブ員などが1軒1軒回り、未設置の家には配布し取り付けていきました。



住宅用火災警報器を取り付ける消防職員

## ミニフォト

### 100歳おめでとう



祝福される黒江さん

黒江静子さん（宿）が12月16日、満100歳の誕生日を迎えられ、県と市から記念品が贈られました。お祝いに訪れた人に「ありがとう」と答えた黒江さん。長寿の秘訣は、「好き嫌いなく何でも食べ、よく寝る」ことだそうです。

### 赤米の収穫を祝う



かけりもちで階段を駆け下りる

赤米の収穫を祝う霜月祭が12月27日、新本の本庄と新庄の両国司神社で行われ、参拝者に赤米の甘酒などが振る舞われました。新庄国司神社では、餅を担いで神社と神田跡を往復する伝統行事「かけりもち」が行われました。

### みんなで仲良く遊んでね



はばたき園で行われた贈呈式

総社中央小学校の児童が総社はばたき園に12月19日、レゴブロックなどの知育玩具をプレゼントしました。同小学校では毎年、全校児童でアルミ缶を収集。今年は3万2954個集まり、これを資金にかえ同園に寄付を行いました。

## 日常のなかにある兄妹の絆

「家族のきずな」携帯写真コンテスト

「家族のきずな」をテーマに行われた携帯写真コンテストの表彰式が1月10日、市役所で行われ、最優秀賞と優秀賞に選ばれた作品の3家族に賞状や記念品が贈られました。

応募総数89点のなかから、昨年12月に市図書館で行った市民投票の結果、渡邊美智子さん（宿）の「ボタンとめてっ」が最優秀賞に選ばれました。兄の真剣なまなざしに妹への愛情が感じられる作品です。

優秀賞は、原田理沙さん（久代）、秋山裕仁さん（久代）の2人です。



最優秀賞を受賞した渡邊さんの家族と受賞作品

## 福祉のプロのノウハウを生かす

福祉避難所協力の協定締結

市は、市内に介護施設などを所有、運営している社会福祉法人6法人（雪舟福祉会、超寿会、経山会、スキーム福祉の会、梁善会、新生寿会）と12月25日、総合福祉センターで「災害時における福祉避難所としての使用協力に関する協定」を締結しました。

福祉避難所とは、高齢者や障がい者など一般的な避難所では生活が困難で、何らかの特別な配慮を必要とする人のために開設される二次的避難所です。

協定内容は、大規模災害時に市内7か所の施設、セレーノ総社、デイサービスセンターさくばらランド、小規模多機能型居宅介護 縁、特別養護老人ホームいずみの杜、総社市山手福祉センター、特別養護老人ホーム グリーンアンドリバーホーム、特別養護老人ホーム 三清荘を福祉避難所として使用。高齢者約100人を受け入れるとしたものです。



協定を締結した、雪舟福祉会 守安信吾施設長、超寿会 藤井三津恵理事長、経山会 小野泰弘理事長、片岡市長、スキーム福祉の会 渡邊繁雄理事長、梁善会 櫻井浩之理事長、新生寿会 西谷達也施設長（写真左から）

施設の機能と社会福祉法人のもつ専門性を生かし、高齢者が安心して避難生活を送ることができる拠点とします。

### きれいな生け花で新年を飾る



真剣に取り組み参加者

迎春の生花講習会が、12月28日に働く婦人の家で開かれました。自分で生けた花を飾り新年を迎えようと25人が参加。講師から説明を聞きながら、見栄えよく生けようと参加者は一生懸命に取り組んでいました。

### 障がいのある人の就労へ理解を



福祉施設の作品展示を見る

障がい福祉フォーラム“ハートフルそうじゃ”想いをかなえる!“働く編”が12月15日、総合福祉センターで開催されました。就労支援の映画上映や作品展示などが行われ、訪れた人は障がい者の就労について理解を深めました。

### 総社の食と農業の魅力を知る



収穫体験をする親子

昨年5月に結成したそうじゃ親子の食・農体験クラブが12月15日、最終回を迎え、親子21人がニンジンの収穫と餅つきを体験しました。月1回のペースで開かれてきた同クラブでは食と農業の大切さについて学びました。